

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年2月5日（水）

2 確認箇所

増設雑固体廃棄物焼却設備（図1）

3 確認項目

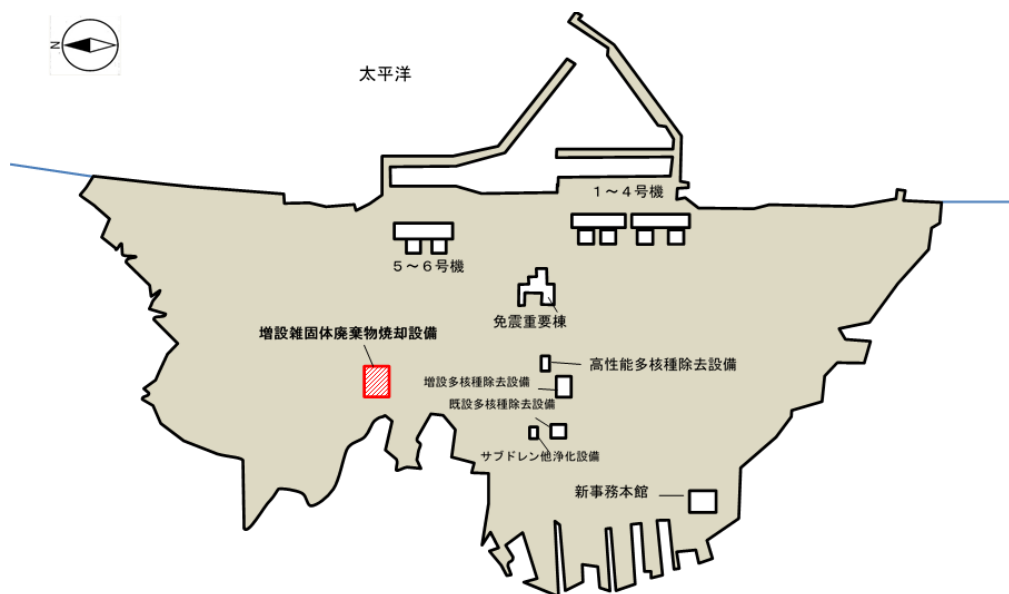
増設雑固体廃棄物焼却設備廃棄物貯留ピット及びその周辺設備の状況

4 確認結果の概要

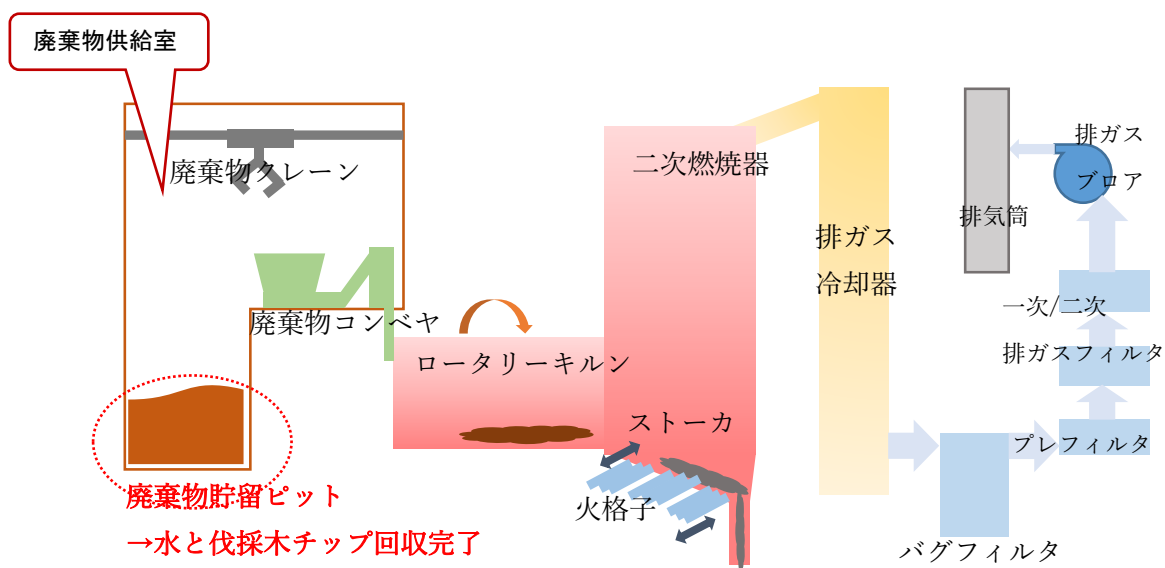
令和6年2月22日に増設雑固体廃棄物焼却設備の建屋内にある廃棄物貯留ピット（以下「ピット」という。）に貯留している伐採木チップから水蒸気・ガスが発生したことにより火災報知器が作動した。伐採木チップへの散水により水蒸気・ガスの発生は収束したものの、ピットが水を貯めることを想定した設計ではなかったため、ピット壁面からの漏えいが確認された（但し漏えいは管理区域内にとどまっている）。このことから、令和6年3月22日からピット内の水と伐採木チップの回収作業が行われていた。（前回確認：[令和6年10月10日](#)）

今回は、回収作業が令和6年12月24日に完了したことから、ピット及びその周辺設備の状況を確認した。（図2）

- ・ピット上部から内部を確認したところ、水と伐採木チップは残っておらず、ピット底部が確認できた。東京電力によると、水900m³、伐採木チップ1,400m³を回収したとのこと。（写真1）
- ・ピットが設置されている部屋（以下「廃棄物供給室」という。）の床や壁にタール状の物質が付着していた。（写真2）
- ・廃棄物供給室内に設置されているモーターや電線管等の設備機器にもタール状の物質が付着していた。東京電力によると、これらの設備機器は更新するとのこと。（写真3）
- ・廃棄物供給室の外にある設備は一部に水蒸気・ガスの発生による影響（電源盤の劣化等）が見られたが、ほとんどの設備にタール状の物質の付着は見られなかった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 増設雑固体廃棄物焼却設備の模式図 (東京電力資料を参考に作成)



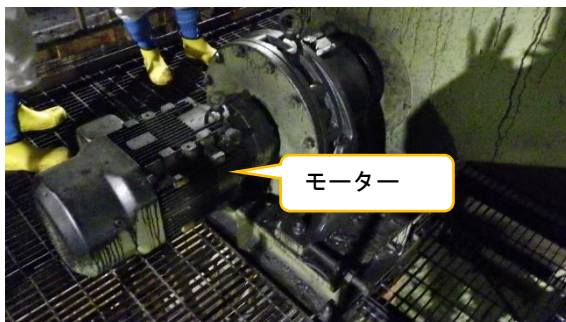
(写真1)
ピット内の状況



(写真2)
廃棄物供給室の床、壁面の状況



(写真3-1)
廃棄物供給室内の設備機器の状況①



(写真3-2)
廃棄物供給室内の設備機器の状況②



(写真4-1)
廃棄物供給室外の設備機器の状況①
※写真はガス冷却器



(写真 4 - 2)
廃棄物供給室外の設備機器の状況②
※写真は排ガスブロア

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。